

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

世界へのプレゼント
になろう

第 2593回 例会
平成27年7月10日(金)
天候 雨
合唱 手に手つないで
四つのテスト

会長 佐藤 泰文

幹事 山本 明峰

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

本日は職業奉仕を優先させて頂き、伊藤副会長に挨拶をお願いしました。

今年度の方針です。初心に戻り、ロータリーの理念を改めて考えてみましょう。皆さんは十分に周知されていることですが、ロータリーの誕生からお話します。

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになり、その頃シカゴに事務所を構えていた青年弁護士、ポール・ハリスが風潮に堪えかね、友人3人と語り、お互いに信頼の

できる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨の会合を考え、その集会を持ち回りとし、各自の事務所で開くことにしたことからロータリークラブと名付け1905年2月23日に発足しました。

それからは志を同じくするクラブが次々と生まれ、今では200を超える国・地域で、クラブ数は34,823、会員数は1,207,102人に達し、これら世界のクラブの連合体を国際ロータリークラブと称します。

歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んじる実業人、専門職業人の集まりで、その組織が拡大するにつれ、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在のような多大な貢献をするようになりました。

日本のロータリークラブは1930(大正9年)10月20日に東京ロータリークラブを創立、翌年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリークラブに加盟が承認され、設立についてはポール・ハリス、チェスリー・ペリーと創立に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功績を忘れることはできません。

現在の日本のロータリークラブは、財団への貢献は抜群で、国際ロータリークラブの中でも欠かせない存在となり、2月末、2,277クラブ、会員88,978人です。

以上ロータリーの誕生です。知り合いを広め、好意と友情を深め、暫くロータリーソングを『手に手つないで』を歌うことにします。

幹事報告

ガバナーより

1. 第2780地区公共イメージ賞について
前年度に引き続き、今年度の「公共イメージ賞」への応募を受け付けます。沢山のクラブからの応募をお待ち申し上げます。

回答期限:8月7日(金)

2. 米山奨学セミナー・カウンセラー研修会開催のご案内

日時:8月22日(土)14時~17時

場所:アイクロス湘南6階会議室

米山委員長・カウンセラーの都合がつかないときは、代理の方をお出し下さい。

回答期限:8月10日(月)

3. 「米山月間」(10月)卓話者の派遣について
回答期限:8月3日(月)

米山記念奨学会より

1. 上期普通寄付金納入のお願い

7~8月末迄の早い時期に送金をお願いします。

連絡事項

1. 来週の例会は休会となります。次回の例会は、24日になりますのでご承知おき下さい。

スマイルBOX

会員誕生日 石川博君(7/22)

小倉高代君(7/23)

室伏 学君 SAAにまだ慣れません。ミスのないように努めます。

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 24名
	欠席 2(免除者 0名)		出席率 91.67%
	前回の修正出席率 91.30		前々回の修正出席率 91.67%

事前メイクアップ 2名

奥湯河原に重光記念館がありますが、なかなか行く機会もなく今まで来ましたが、先日拝観する機会がありました。重光葵は戦艦ミズーリで降伏文書に署名をしたことで有名な政治家であり外交官ですが、それ以外には何の知識もなかったもので、どのような人物なのか調べてみました。

重光 葵について

生い立ち

大分県大野郡三重町(のち大分県豊後大野市)に士族で大野郡長を努める多田家の次男として生まれた。しかし母の実家(重光家本家)に子供がなかったため養子となり重光家 26 代目の当主となった。旧制杵築中学、第五高等学校独法学科を経て、東京帝国大学法学部を卒業する。

外交官として

1911年(明治44年)9月、外務省に入省、在ドイツ・在英国各公使館書記官、在シアトル領事を経て、各国において日本国公使として勤務していたが、1930年(昭和5年)に駐華公使となる。1931年(昭和6年)9月、日本陸軍の一部が突如満州を制圧しようとする満州事変を引き起こし国際問題となる。これに対し重光は「明治以来積み立てられた日本の国際的地位が一朝にして破壊せられ、我が国際的信用が急速に消耗の一途をたどって行くことは外交の局に当たっている者の耐え難いところである」(重光著[昭和の動乱]より)と怒り外交による強調路線によって収めようと奔走。1932年(昭和7年)1月、第1次上海事変が起き重光は欧米諸国の協力の下、中国との停戦交渉を行う。何とか停戦協定をまとめ、あとは調印を残すだけとなった同年4月29日、上海虹口公園での天長節祝賀式典において朝鮮独立運動家の爆弾攻撃に遭い重症を負う(上海天長節爆弾事件)。重光は「停戦を成立させねば国家の前途は取り返しのつかざる羽目に陥るべし」と語り、事件の7日後の5月5日、右脚切断手術の直前に上海停戦協定の署名を果たす。なお、弁当箱状の爆弾が投げつけられた時、逃げなかったことについて「国歌斉唱中だったから」と答えている。

第1次上海事変を中国が国際連盟に提訴したことを引き金に、1933(昭和8年)2月24日、国際連盟で日本軍の満州での行動を不当とする決議案(リットン報告書)が賛成42カ国 対 反対1カ国(日本)で採決された。これを不服とする日本は国際連盟から脱退し国際社会から孤立していく。このころ重光は「欧米の国々は民主主義民族主義を欧州に実現することに努力した。しかしながら彼らの努力はほとんど亜細亜には向けられなかった。欧米は阿弗利加および亜細亜の大部分を植民地とし亜細亜民族の国際的人格を認めないのである」と手記を残し、白人による亜細亜支配であれば許されるのかと怒っている。

戦時中の外相

東條英機内閣・小磯国昭内閣において外相を努める。東條内閣にあつては大東亜省設置に反対、しかしながら、東條首相のブレーンとして自らの主張を現実にするため、1943年(昭和18年)11月の大東亜会議を開くために奔走。人種差別をなくし亜細亜の国々が互いに自主独立を尊重し対等な立場での協力を宣言した。

敗戦国の全権

重光は敗戦直後に組閣された東久邇宮稔彦王内閣で外務大臣に再任され、日本政府の全権として降伏文書に署名するという大役を引き受ける。1945年(昭和20年)9月2日、東京湾上に停泊した戦艦・ミズーリ甲板上で行われた連合国への降伏文書調印式において、大本営代表の参謀総長梅津美治郎と共に日本全権として署名を行った。重光はこれを「不名誉の終着点ではなく、再生の出発点である」と捉え、その時の心境を「願わくは 御国の末の 栄え行き 我が名さげすむ 人の多きを」と詠んでいる。

戦後

重光は講和条約の発効、公職追放解除後は衆議院議員に3回選出された。1955年(昭和30年)4月インドネシアでアジア・アフリカの29カ国がアジア・アフリカ会議(バンドン会議)が開かれ、この会議でアジアの一員として国連加盟の支持を得た。9月1日、重光は外務大臣として国連本部を訪れレセプションを開催し、経済復興した日本が国際社会に貢献できると国連加盟をアピールしたが、12月に常任理事国のソ連に拒否権を行使され、国連への加盟は達成できなかった。国連加盟を果たすため、鳩山一郎内閣は国交のなかったソ連との国交回復を目指し、重光はモスクワで日ソ国交回復交渉に入るが、北方領土問題が難航し交渉を妥結できなかった。このことから重光は「日ソ平和条約締結のためには歯舞・色丹の2島のみを返還するというソ連案を受け入れるしかない」という旨の電文を東京に打電した。しかし、鳩山は重光の提案を拒否し、自ら交渉に臨んだが、何ら打開できなかった。鳩山は日ソ平和条約の締結および北方領土問題の解決を棚上げすることとし、10月19日、ソ連との国交回復を意味する日ソ共同宣言だけを行い、これによって「日本の国連加盟に反対しない」旨の内諾をソ連から得た。同年12月18日、国連総会は加盟76カ国の全会一致で日本の国連加盟を承認した。重光は加盟受諾演説で「日本は東西の架け橋になりうる」と表明し、各国の代表団に拍手で受け入れられた。その直後国連本部前庭に自らの手で日章旗を高々と掲げた重光は、その時の心境を「霧は晴れ 国連の塔は 輝きて 高くかかげし 日の丸の旗」と詠んでいる。日本への帰途、同行した加瀬俊一に対して笑顔で「もう思い残すことはない」と語った。

それから一月後の1957年(昭和32年)1月26日、狭心症の発作により神奈川県湯河原町の別荘で急逝した。69歳だった。重光の外務大臣と国際連合への加盟実現に対して、死後に勲一等旭日桐花大綬章が授与された。

以上 ウィキペディア より

